



MISHIMA INTERNATIONAL
RELATIONS ASSOCIATION

MIRA 通信

<https://mishima-life.jp/mira/>

No. 105 2018年

平成30年6月30日発行

三島市国際交流協会

〒411-8666

静岡県三島市中央町5-5

三島市役所中央町別館

TEL (055) 976-1020

FAX (055) 976-1021

小野金彌相談役ご逝去

協会の相談役で初代会長の小野金彌さんが、去る3月11日ご逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

小野さんは、バサディナ市との姉妹都市提携（1957年）後、1969年に同市を訪問したことを契機に、都市縁組委員会の委員、協会の前身である三島姉妹都市協会の理事、会長を歴任。三島市国際交流協会発足（1992年）とともに引き続き会長に就任。1998年まで30年近くの間、三島市の国際交流の発展に貢献されました。



小野金彌相談役のご逝去を悼む

三島市国際交流協会会長 平出 利之

2018年3月11日にご逝去されました小野金彌様のご冥福をお祈り申し上げます。小野様は1973年に三島姉妹都市協会会長、そして三島市国際交流協会会長に就任され、約25年の長きにわたり協会の為にご尽力されました。小野様が培った輝かしい功績は、現在の協会の源となっております。この功績を汚すことなく、前に進んで行く事は我々の使命であると思っております。

ここで、数年前に小野様から頂いた当時の資料をご披露致します。それは初めて三島の訪問団が1993年7月25日～8月3日に中国を訪問した時のことです。出発から飛行機が4時間遅れた段階で、上海から乗り継いで温州へ行く国内便に間に合わない、と思ったそうです。ところが、上海市外事弁公室の配慮で、乗り継ぎ便を待たせていたそうです。この事で、中国は三島の訪問団を大変重要視している事を感じ、そして大歓迎を受け、有意義な訪問であったと書かれておりました。このエピソードはほんの一部にすぎませんが、数々の出来事が現在の源となって引き継がれております。

最後に、改めて偉大なる小野様の功績をたたえたいと思います。そして、いつもやさしい口調でお話をされていた小野様に感謝致します。



写真左上：友好都市提携を前に、来島した麗水市の季清芳市長との記念品交換（1996年）

写真右上：姉妹都市提携50周年公式訪問団として来島したバサディナ市のビル・ボガード市長らとともに、歓迎会にて（2007年）

写真左：バサディナ市で姉妹都市交流の発展に貢献された故森田次郎氏の令嬢、ヘレン・マツナガさん来島時に、恵明学園にて（2014年）

呉曉東麗水市長からの追悼文

丽水市人民政府

唁 电

日本国静岡県三島市政府

三島市国際交流協会：

惊闻小野金弥先生于3月11日在三岛市辞世，不胜哀悼！

小野金弥先生是三岛市国际交流协会第1任会长，在会长任职15年中，先生亲自率团多次访问丽水市，为推动三岛市与丽水市结为友好城市付出了大量心血。先生的精神、先生的伟业，永垂于世，嘉惠后人！

谨对小野金弥先生辞世表示沉痛哀悼，向其家属表示深切慰问！

中华人民共和国浙江省丽水市人民政府市长

2018年3月19日

吳曉東

〔訳〕

去る3月11日、小野金彌先生のご訃報に接し、ご生前のご功績を偲び、心からご冥福をお祈りいたします。

小野金彌先生は、三島市国際交流協会の初代会長として、また、15年間の会長在任中に、訪中団長として、何度もメンバーを率いて、麗水市にいらっしゃいました。ご生前中、両市の友好都市提携と市民レベルの交流などにご尽力いただきました事、深く感謝申し上げます。先生の国際理解に対する精神、偉業は永垂不朽です。

小野金彌先生のご家族の皆様方に、心からの哀悼の意をお伝えいただきますようお願い申し上げます。

平成30年度

三島市国際交流協会総会

平成30年度総会が、5月9日（水）みしまプラザホテルにて開催されました。開会の辞の後、3月11日にご逝去された元会長の小野金彌相談役へ、1分間の黙とうを行いました。

平出会長の挨拶、来賓の豊岡武士市長、鈴木文子市議会議長の祝辞ののち議事に入り、平成29年度の事業報告、同決算報告、監事会計監査報告、平成30年度事業計画（案）、同予算（案）の審議が行われ、各号とも承認、可決されました。

平出会長は挨拶の中で、4月27日に国際交流協会が三島市政功労者として表彰を受けたことと、平成29年度はバサディナ市との姉妹都市提携60周年、麗水市との



の友好都市提携20周年で、三島市公式訪問団が両都市で大歓迎を受け、友好、友情の絆の強さを改めて感じ



たと報告しました。

また、質疑応答では、会員の減少、高齢化が進んでいる。その対策として、三島市の姉妹都市バサディナ市、ニュープリマス市、友好都市麗水市について協会を通じてもっと市民に知ってもらい、会員の獲得を行ってはどうかとの意見も出されました。平出会長は、今後の課題として、取り組んで行かなければならないと回答しました。

総会終了後、懇親会が行われ、会員相互の交流の輪が広がりました。

三島市国際交流協会役員名簿

（任期：2018年4月1日～2020年3月31日）

名誉会長

豊岡 武士（市長）

顧問

小池 政臣（前市長）

鈴木 文子（市議会議長）

相談役

石村 郁夫（元会長）

小松 幸子（元会長）

朝日 智雄（前会長）

理事

平出 利之（会長）

矢岸 克行（副会長）

遠藤 正幸（副会長）

千葉 慎二（会計）

望月 眞弓（総務委員長）

中田 英機（都市交流委員長）

金子 諭（広報委員長）

山本寿美子（在住外国人交流委員長）

長沢 ゆみ（総務副委員長）

小野 大和（都市交流副委員長）

大島公好子（広報副委員長）

鳥居 正浩（在住外国人交流副委員長）

鈴木 智子（三島商工会議所）

宮澤 克実（三島函南農業協同組合）

熊本 秀行（日本大学国際関係学部）

杉山 昇（三島市自治会連合会）

佐藤 眞吾（三島市文化芸術協会）

河田 亮一（三島ロータリークラブ）

室伏 勝宏（三島西ロータリークラブ）

大庭 靖貴（せせらぎ三島ロータリークラブ）

土屋 利絵（三島ライオンズクラブ）

曾根 輝夫（三島泉ライオンズクラブ）

佐藤 良太（（公益社団法人）三島青年会議所）

野木 明美（国際ソロプチミスト駿河）

乙部美麻子（グローバル文化交流協会）

王 春華（在住外国人代表）

松田 智子（三島日本語サークル）

監事

亥角 裕巳（亥角会計事務所）

志村 肇（学識経験者）

（敬称略）

平成30年度 主な行事

4月	20日～25日	ニュープリマス市スポーツウッドカレッジ訪問団受入
	27日	市政功労者表彰式
	27日	市立小中学校図書寄贈
5月	9日	三島市国際交流協会総会・懇親会
6月	3日	第25回国際交流フェア
	30日	第10回フラワーアレンジメント講座
7月	10日～11日	麗水市花園中学校友好交流団受入
	6日～8月31日	夏期語学講座（韓国語・中国語・スペイン語）
	16日～17日	麗水市農林業交流訪問団受入
8月	3日～8日	フレンドシップ2018受入（バサディナ市・麗水市）
	3日～下旬	バサディナ市夏期研修生受入
9月	7日～11月30日	日本語の教え方講座
	15日	第11回フラワーアレンジメント講座
10月	14日	第55回姉妹都市親善英語スピーチコンテスト
11月	11日	第8回ふれあいフットサル大会
2月	3日	新春交流パーティー
3月	下旬	ニュープリマス市派遣研修生事業

行事は都合により、日程・内容が変更になることがあります。

市政功労者表彰を受けました

このほど、協会の多年にわたる活動が、異文化交流や市民の国際理解の推進に多大な貢献をしたと認められ、市政功労の有功者として表彰されました。4月27日に生涯学習センターにて表彰式が挙行され、豊岡武士市長から平出会長に表彰状が授与されました。諸先輩から継承されてきた地道な草の根の活動が認められたことは、大変うれしく名誉なことですが、同時に、今までにも増して三島市の国際交流に貢献できるように、気持ちを新たにします。



変うれしく名誉なことですが、同時に、今までにも増して三島市の国際交流に貢献できるように、気持ちを新たにします。



市立小中学校に図書を寄贈

毎年恒例となっている図書の寄贈のため、4月27日、平出会長ほか役員が三島市教育委員会を訪れ、西島教育長に小中学校21校分の本を手渡しました。

この本は『なるほど知図帳世界2018 ニュースと合わせて読みたい世界地図』（写真）というもので、世界地図ばかりでなく、世界の情勢、国際ニュース、時事問題などを、写真や表などを駆使してわかりやすく解説しており、楽しく教養が身に着く図書です。これは、協会が保有する国際交流振興基金を活用して行っている事業で、今年で14回目となりました。



日本語の教え方講座 受講生募集

- と き** 平成30年9月7日～11月30日の毎週金曜日
10:00～11:30 (全12回)
- ところ** 三島市役所中央町別館 会議室
- 内 容** 外国人に日本語を教えるボランティア養成講座
- 対 象** 三島市在住・在勤在学の方または協会会員
- 定 員** 20人 ※応募者多数の場合は抽選、協会会員優先
- 受講料** 一般2,000円・協会会員1,000円
テキスト代別途
- 申込み** 8月3日(金)までに、往復はがきに「日本語の教え方講座申込」と明記の上、①住所 ②氏名(ふりがな) ③電話番号 ④協会会員か非会員かを記入し、三島市国際交流協会へ郵送

問合せ・申込み

三島市国際交流協会 TEL976-1020
TEL411-8666 三島市中央町5-5
三島市役所中央町別館2階



グローバル人材育成プロジェクトin三島

みしまイングリッシュ・キャンプ ボランティア募集

箱根の自然と親しみながら、グループ活動する中で、簡単な英単語を覚えたり、基本的な日常英会話を楽しんだりする講座です。この事業をサポートしてくれるボランティアを募集します。

日時：平成30年8月8日(水) 9:00～14:00
場所：箱根の里 (三島市字北原菅4710-1)
対象：三島市在住の小学5・6年生
講師：三島市小・中学校に勤務しているALT他
応募締め切り：平成30年7月13日(金)
申し込み、問い合わせは
三島市教育委員会 学校教育課
TEL: 983-2671



第25回

国際交流フェア

第25回国際交流フェアが6月3日(日)に開催され、天候に恵まれたこの日、会場となった三島商工会議所TMOホールは多くの家族連れで賑わいました。インド舞踊、フラメンコ、ズンバなどの世界の踊りが披露されて会場を盛り立て、食欲をそそる匂いが漂う世界の料理では、例年の南米やアジア料理に加えて新しくメキシコ料理も出店しました。こども広場の英語ゲーム、福井ゼミの南米ブースなど、大学生も大活躍した一日でした。



三島でプチ留学!中・高・大学生と交流 ～スポーツツウッドカレッジ訪問団来島～

4月20日(金)から25日(水)まで、ニュージーランドの姉妹都市ニュープリマスからスポーツツウッドカレッジの学生10名と引率4名が三島を訪れました。一行は4月12日(木)羽田空港に到着。東京、広島、京都、大阪を訪問した後、20日(金)三島に入りホストファミリーとの対面を果たしました。

週末をホストファミリーと過ごし、すっかり三島の空気になじんだ学生たちは、市内各種学校でのプログラムに参加。双方の学生たちは、貴重な国際交流の時間を過ごしました。スポーツツウッドカレッジの来島は、今回で終了とのこと。三島との縁をつないでこられたレイコ・スミザース先生を始めとする関係者の皆さま、長年、本当にお疲れさまでした。

南中

おもてなしムード
最高😊



ホストファミリーの
みなさん
ありがとうございました!



南高

農兵節を
踊ったよ!

お見送り
ありがとう



日大 国際関係 学部

日本文化を
体験



スポーツツウッドカレッジ訪問団 & お世話になったホストファミリーのみなさん

Abigail Graham	アビゲイル・グラハム	内藤ファミリー
Hugh Avery	ヒュー・エイブリー	加藤ファミリー
Cole Smith	コール・スミス	秋山ファミリー
Cain Simons	ケイン・シモンズ	
Riley McDonald	ライリ・マクドナルド	武田ファミリー
Vaughn Te Huki	ヴォーン・テ・フキ	
Kohana Clothier	コハナ・クロジアー	江本ファミリー
Emma Wallace	エマ・ワレス	
Isabel Costley	イザベル・コストリー	紀野ファミリー
Rosie Bolger	ロージー・ボルジャー	
©Joanna Syme	ジョアナ・サイミ	江島ファミリー
©Reiko Smithers	レイコ・スミザース	辻村ファミリー
©Michele FitzPatrick	ミシェル・フィッツパトリック	岩田ファミリー
©Gavin FitzPatrick	ギャビン・フィッツパトリック	

◎印は引率教員

Schedule

- 4月20日(金)
 - ・三島着 ホストファミリー引渡し
- 4月21日(土)・22日(日)
 - ・ホストファミリープログラム
- 4月23日(月)
 - ・市長表敬訪問
 - ・静岡県立三島南高等学校訪問
 - ・日本大学国際関係学部訪問
- 4月24日(火)
 - ・三島市立南中学校訪問 中郷温水池散策
 - ・三島スカイウォーク 楽寿園等市内散策
 - ・MIRA送別会
- 4月25日(水)
 - ・三島出発 鎌倉観光 成田発





平成29年度

姉妹都市ニュープリマス市、友好都市麗水市

派遣研修生事業

～異文化思いっきり体験～



三島市は派遣研修生事業で、3月21日から麗水市へ7名、ニュープリマス市へ9名の研修生を派遣し、それぞれ実り多い日々を過ごしました。

麗水市では28日までの8日間、NP市では29日までの9日間の訪問でしたが、ホームステイをしながら、現地の学校で授業を受けたり、様々なイベントを通じて交流を深めました。

出発前は、言葉が通じるだろうか、ホストファミリーと打ち解けられるだろうか、と不安でいっぱいでしたが、皆が優しく気さくに声をかけてくれ、すぐに打ち解けることができました。行く前にあった心配事は現地に着くとすぐに消え、『百聞は一見にしかず』をつくづく実感したり、英語力の向上にと参加したものの、ス

ビードに圧倒され更に勉強しなければと奮起したり、麗水では中学生の英語力が自分たちより断然に優れているのに驚いてみたり、たくさんの刺激を受けました。ホストファミリーが相手を喜ばせようとする気遣いに感激し、仲間の良さや優しさを再確認することもできました。自分の考えが全てだと思わない柔軟性や視野を広げることの大切さや、大自然の中で流れるゆったりした時間など、学んだことは多かったようです。日本という同質社会から一步踏み出したところで初めて見える景色がたくさんあったようです。



ニュープリマス市派遣研修

日程表

- 3/21(水) 出発
ニュープリマス市へ
- 3/22(木) ・ハイランズ・インターメディエイト校訪問
～27(火) ・市内周辺(タラナキ山・動物園など)見学
・ホストファミリーとの生活体験
- 3/28(水) ・オークランド
～29(木) 市内見学
・帰国

研修生

【研修生】

竹見 采夏(北中) 杉山 里桜(南中)
富久尾 聡(山田中) 杉岡 諒祐(山田中)
黒崎 実侑(錦田中) 河野 もも(中郷西中)
佐土原芽衣(中郷西中)

【MIRA英語スピーチコンテスト優勝者】

星野 心音(北中) 秋山 麗奈(韭山高校)

【指導員】

江本 祐輔(企画戦略部 秘書課)
熊谷 早紀(産業文化部 農政課)



麗水市派遣研修

日程表

- 3/21(水) 出発
- 3/22(木) 杭州市内見学
- 3/23(金) 麗水市景寧へ・景寧中学訪問
～24(土) ・夜景鑑賞・博物館見学
・サイクリング
- 麗水市蓮都区へ
- 3/25(日) ・花園中訪問・授業見学
～26(月) ・シイタク工場見学・都市計画館見学
・甌江散策
- 3/27(火)～28(水) 上海見学・帰国



研修生

【研修生】

鈴木 美織(北中) 浅田 京花(南中)
阿部 空人(山田中) 後藤 彩音(北上中)
佐野 萌(中郷西中) 大橋 秀海(中郷中)
長篠美里花(中郷中)

【指導員】

坂本 学(国際交流室)
李 寧(国際交流室)

* 学校・所属は派遣当時

Mishima International Relations Association No.105

❖ James Molloy - MIRA Newsletter #16 ❖

JIM のみしまものがたり ⑬

Where waters meet.

水が交わるところ



カナダのニューファンドランドで育った私の周りには、いつも水がありました。裏庭からは、はるかヨーロッパ大陸へと続く大西洋を見渡すことができました。毎朝力強い色彩を放ちながら昇る朝日を眺めては、水平線のかなたにいる自分の同志について想像を膨らませたものです。

夏には魚釣りや水泳、そして冬にはスケートや穴釣りが楽しめる池が自宅の前にあっただけでなく、やがては大西洋に合流する急流の川やせせらぎなどが身近にありました。夜の静けさの中から聞こえてくる、小川のさらさらと流れる音や砕け散る波の音。陽が昇ったら、川の流れの行き着く先を求めて川沿いに続く道をどこまでも歩いたこともありました。流れを追いながらようやく大西洋の端っこで行き止まると、水自身は人間がつけた川、池、海などの呼び名を知っているのかなとか、他の仲間と交わったときはどうなるのかなとか、子どもらしい好奇心で考えを巡らせたのでした。

ここ三島で生活し始めてからも、水に囲まれていることを日々実感しています。澄みきった富士山の雪どけ水が菰池、桜川、御殿川、楽寿園の小浜池や源兵衛川、宮さんの川に流れ込み、長い年月をかけて、この街を創り上げてきました。人々が生活や手工業に欠かせない水をふんだんに利用できたからです。リラックスしたくなった時、私はこれらの水路沿いを散策します。子どもの頃のように、水の流れていく先や、交わるところを発見したくて。

私のお気に入りの水スポットをひとつ挙げるとしたら、三嶋大社でしょうか。正面の大鳥居をくぐり参道を歩くと、橋が見えてきます。橋の上から左右を見ると、東西に池があるでしょう。厳島神社側の西の池は富士山からの雪どけ水、宝物館側の東の池は箱根山からの湧き水。それらがちょうど足元にある橋の下で交わっているのです。

三島は何世紀にもわたり、旅の途中で人と人が会おう宿場町、そして三嶋大社の門前町として存在してきました。そんな街を三島の水は象徴しているように思いませんか。

NO.
5

いざという時の「やさしい日本語」

身近な外国人との コミュニケーション

～「やさしい日本語」で話してみよう～

「やさしい日本語」とは、普段使っている言葉を外国人にもわかるように配慮した簡単な日本語のことです。

あなたも「やさしい日本語」で、身近な外国人と話してみませんか。

6月18日の朝、震度6弱の地震が大阪北部を襲いました。日本では地震以外に、豪雨などの自然災害に遭うこともあります。外国からのお客様が増えるのはうれしいことですが、地震など経験したことがない人がほとんどなので、災害弱者になってしまいます。日本に住んでいる外国人も、防災について学ぶ機会は少ないのではないのでしょうか。いざという時の対応を考えておく必要がありますね。

【地震が起きたら こんなふうに伝えよう】

一言ずつ区切って、ゆっくり話しましょう。

「頭の上に 気をつけてください」「逃げるとき 歩いてください」

「すぐ 火を けしてください」「エレベーターを 使わないでください」

「荷物は 少なくしてください」「逃げる場所は ○○です」など



ニュージーランド写真展開催

姉妹都市・ニュープリマスから伝えたい

仙台市出身でニュージーランドの若手写真家伊藤秀海^{しゅうかい}さんによるニュージーランド写真展が、5月17日から22日にかけて、Via701ギャラリーにて開催されました。

伊藤さんはニュープリマス在住時に、三島市とニュープリマス市が、富士山そりのタラナキ山が縁で姉妹都市となったことを知り、三島市で写真展を開催することが長年の夢だったそうです。週末のトークショーには、会場いっぱいの聴衆が来てくれ、また、初めて訪れた三島の人々が皆親切で、写真展の終わるころには、たくさんの人と親しくなれたことが、本当にうれしかったとのこと。

写真展終了後の23日には、豊岡武士市長を表敬訪問。ニュージーランドフェスタのようなものを三島で開催し、両国・両市の友好を一層深めていけると、熱く語りました。



写真展の様子



【ニュージーランドの富士山】



写真家
伊藤 秀海
プロフィール

宮城県 仙台市出身。1988年6月生まれ。

22歳の時にやりたい事を探し求めてオーストラリアへ渡航し英語を習得。その後隣国ニュージーランドへ場所を移し、壮大な自然と優しい人々と出会い、魅了され、移住。ニュープリマス在住の写真家としての活動を経て、ヨーロッパ（チェコ、プラハ）でニュージーランド写真展を開催。現在は一時帰国をし、福島県いわき市、三重県、京都、大阪で、写真展・スライドショー&トークイベントを開催中。撮りためた写真を通してニュージーランドと日本をつなげる活動をしている。

伊藤さんの最終的に叶えたい目標は、『人々が、好きな場所で好きな事をして、好きな人と過ごせる世界を創る』こと。人は、好きな事をやっているときにその人の価値が最大限に活きる。叶わない夢は存在しない！

麦畑（広報委員・活動後記）

- | | |
|-------------------------------|---|
| ★水澄む街、三島。住んでる市民のハートも澄んでます。（明） | ★伝統・ハイテク・アニメ・食・カワイイ・日本大人気！（魚） |
| ★市政功労者表彰。草の根交流をこれからも、息長く。（S） | ★Need energy? A walk beside a river is just what you need.（J） |
| ★“百聞は一見にしかず”の海外派遣事業。来たれ若者！（桜） | ★三島の学生たちのおもてなしマインドがすばらしかった（青） |